

ごあいさつ



諏訪広域連合は、平成12年7月の発足以来、今日まで3期にわたり広域計画を策定し、構成市町村と役割を分担しながら、介護保険事業の広域化等、経費の削減や事務処理の効率化を図ってまいりました。

この間、社会を取り巻く情勢は大きく変化し、人口減少や少子超高齢化、高度情報化、国際化などの進展や環境問題など、地域における課題はますます多様化・高度化し、それに伴う住民ニーズへの対応が喫緊の課題となっております。

近年では、「まち・ひと・しごと創生法」による「人口減少抑制」や「地域活性化」に資する取り組みが地方自治体に求められているように、地方が自らの地域づくりを今まで以上に考え、自ら取り組んでいく時代を迎えております。そんな社会変化に適切に対応し、多岐にわたる住民ニーズに積極的に応えながら、地域課題を解決していくためには、市町村の枠を越え、広域的な考え方や連携を行うことが求められており、広域連合が果たす役割もさらに大きなものとなっております。

諏訪広域連合では、平成27年4月からの消防一元化による新たな広域消防体制や、平成28年4月の行政不服審査会の設置等、新たな取り組みを始めるとともに、めまぐるしく変化する社会の動きに対応しながら、様々な事業に取り組んでまいりました。今後もさらに広域的な連携を進め、諏訪圏域の均衡ある発展を目指すため、ここに平成29年度から平成33年度までの5年間の期間とする第4期広域計画を策定いたしました。

この広域計画は、諏訪広域連合を組織する関係市町村や住民の皆様、広域連合が掲げる目標や事務処理の方針を示すとともに、広域連合や関係市町村が事務処理を行っていく今後の指針となるものです。第3期広域計画に基づき実施した事業内容を検証した上で、その基本理念を継承し、5項目の郷土づくりの柱を定め、現状と課題を踏まえた今後の方針や施策を盛り込みました。

この計画の実現に向け、引き続き諏訪広域連合及び関係市町村が一体となって、住みよい魅力ある地域づくりをめざしてまいりますので、格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました広域計画策定委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました住民の皆様、議会及び関係団体の皆様、心から感謝申し上げます。

平成29年3月

諏訪広域連合
広域連合長

金子ゆかり